

プレスリリース

朝来市報道記者発表資料

令和8年6月8日

続・幻のヘビ ジムグリ発見！

豊かな自然を証明する超偏食のヘビ

※令和4年度の「幻のヘビ」シロマダラに続く発見。

《ポイント》

- ・朝来市では、目撃例はあるが証拠が無かった種。
- ・自分の口に入るサイズの地中性ないし半地中性の小型哺乳動物（ジネズミ、ヒミズ、ハタネズミ、コウベモグラの幼体など）しか食べない。
- ・実物を、記者懇談会に持参。

小型（70cm～90cm）の成体。生息個体数が少なく、朝来市では目撃例はあるものの写真や剥製は無く「幻のヘビ」であるジムグリを捕獲・確認しました。兵庫県内では神戸市、伊丹市、川西市、姫路市、宍粟市、豊岡市、養父市、丹波市、南あわじ市で目撃例がある

《内容》

発見日時 令和8年5月17日（日）18:00頃

発見場所 朝来市和田山町内

確認者 濱 凜誠（和田山中学校3年生：15歳）

同定者 太田 英利 博士（理学） 兵庫県立大学名誉教授 爬虫類・両生類が専門
問合せ先 Tel：090-7489-5121 / e-mail：ohta@hitohaku.jp

確認の状況 和田山町内の東河川で、川を渡ろうとする今個体を発見、捕獲。

種の特徴 ナミヘビ科で日本固有種。幼体は赤褐色だが成長とともに背面の赤身は失われ、体側の黒斑も目立たなくなる。無毒。

希少性 兵庫県版レッドリストで「最近減少が著しい種、優れた自然環境の指標となる種などの貴重種に準ずる種」に該当する「要注目」に分類されている。本州とその周辺の島に生息しているが、餌が、自分の口に入るサイズの地中性ないし半地中性の小型哺乳動物（ジネズミ、ヒミズ、ハタネズミ、コウベモグラの幼体など）に限られる（つまり小鳥、トカゲ、カエル、小魚、ミミズといった他の小動物は決して食べない）。つまり、このヘビが生息できているということは、こうした小型の哺乳類が安定して生息する豊かな自然が維持されていることの証左とも言えると思います。
（太田英利先生談）

朝来市の方向性 令和 8 年度末に生物多様性地域戦略の策定を目指す。今後も市内の
様々な生物の情報提供を受け、市民の生物多様性・生態系サービスへの
興味関心を醸成したい。



本件に関する問い合わせ
担当部署：市民生活部市民課環境推進室
電話：079-672-6120
E-mail:kankyou@city.asago.lg.jp
課長 村上 泰啓
担当 波多野 哲哉